

受講生  
募集

市民講演会

孤独・孤立防止への取り組み  
～こどもの心を聴く人になろう～

●市民講演会 プログラム●

本講演会は、こどもを取り巻く現状と孤独・孤立防止への取り組み、問題を抱え、追い詰められても声を上げられない、聴いてもらえないこどもたちの心を聴いて支援し、声を届けるボランティア活動について知ると共に、全てのこどもが尊重され、幸せに生活できる社会の実現に向けた活動への参画の契機を目的に開催します。

とき 令和5年  
11月25日(土) 13:30～16:15

ところ ウェルとばた 2F多目的ホール  
(北九州市戸畑区汐井町1-6)

定員 90名 受講料 無料

対象 ボランティア・市民活動に関心のある方、活動中の方など

申込方法 電話(881-6321) または Googleフォームでお申込みください。



締切 11月7日(火)17時 必着  
応募多数の場合は抽選になります。

時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉ボランティア大学校
13:35～	「学ぶ、考える、こどもの権利。～内容と4つの柱、こどもの頃を振り返って～」	北九州市立大学 名誉教授/NPO法人福岡県子どもアドボカシーセンター
14:15～	「こどもたちの現状とアドボカシーのニーズ～アドボケイト(代弁者)という考え方・なぜ、声をあげることは難しいのか～」	
15:05～	「こどもの心を聴き、声を届ける～子ども意見表明支援員の活動とは～」	理事長 河嶋 静代
15:15～	休憩	
15:25～	「ヤングケアラーの問題について考える～理解と気づき、支援について～」	北九州市立大学 基盤教育センター 准教授・スクールソーシャルワーカー 寺田 千栄子
16:15～	閉会	北九州市社会福祉ボランティア大学校

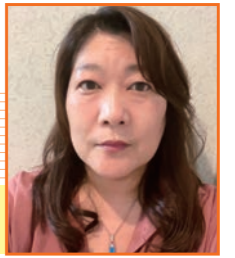


シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」④

子ども食堂は 地域で見守る  
「こどもまんなか」みんなの居場所

NPO法人  
Smileネットワーク北九州  
理事長

山縣 郁子さん



小倉北区清水で『子ども食堂☆きらきら清水』を始めて今年で5年目になります。これまで、北九州市PTA協議会母親代表を始め、民生委員や青少年育成団体等、20年以上のボランティア経験から、現在の礎となるとても多くのことを学びました。

また、私自身子育てに大変苦勞をし、両親の助けがあって、無事に子育てができたという経緯があり、子どもの虐待等のニュースを見るたび、何か自分にできることはないのかと常に葛藤がありました。地域の宝である子ども達を地域みんなで育てる場があればと考えたのが、子ども食堂を始めたきっかけです。

そして、コロナ禍でフードパントリーや小学生対象の学習支援を開始。さらに、子ども食堂を通じて誰も取りこぼさない社会をつくるというビジョンを掲げる「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすび

え」の一員として、全国で活動をしています。

昨今、子ども食堂は子育て支援や地域の多世代交流の場として認知が広がってきました。ひとり親や共働きによる孤独や孤食対策にもつながり、子どもをみんなで見守る居場所となっています。また、パントリーでは、新型コロナの影響や物価高騰により、子育て支援として企業や市民の皆さまからいただいた寄付食材等を配布し、大変喜ばれています。

北九州市には現在約50箇所の子ども食堂が開設されています。それぞれ、運営者やボランティア、参加者みんなの様々な想いがいっぱい詰まった子ども食堂です。子ども達が歩いて行ける場所として校区にひとつ、130の子ども食堂があるのが理想ですが、まだまだ足りません。まずは、お近くの子ども食堂を調べて、見学やボランティアに行ってみませんか。

研修レポート ～障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座～

知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座



▶研修風景

講師: 北九州市手をつなぐ育成会(親の会) 啓発キャラバン ちゃちゃ隊

今年で三回目の開催となる当講座では、今回は知的・発達障害のある方の生活上の困難を知り、障害の特性や対応法について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方を、活動の窓口につなげることを目的として開催いたしました。講師には、知的・発達障害のある子をもつ親御さんが活動する、「北九州市手をつなぐ育成会(親の会)」の皆さんにつとめていただき、疑似体験を通して、知的・発達障害のある人たちの生活上の困難さを理解してもらいました。次の寸劇では、短いストーリーの中に「シングルフォーカス」等の障害の特性がわかりやすく描かれており、知的・発達障害のある人を理解する上で大変効果的でした。

最後に北九州市障害福祉ボランティア協会の宮崎常務理事より「ボランティア活動のルールとマナー」についてお話をいただきました。

アンケートには、「日頃からどのように接したらよいか、手をさしのべたらよいかわからなかったので大変参考になった。」「体験することで、より実感できる。障害のある人に、どうしたら伝わるかを考える材料になるし、待つことの大事さがリアルに伝わる。障害のある人の感覚が少しわかる気がした。」などの声が寄せられ、受講者のうち5人の方をボランティア活動につなぐことができました。



▲寸劇の様子

受講生  
募集

令和5年度 まちづくりセミナー

「私たちにもできる!身近なことから、まちづくり」  
～地域の力で、地域に根差した  
まちづくりを進めているグループや団体の事例に学ぶ～

“まちづくり”と一言と言っても、地域によって活動は様々です。しかし、そこに共通しているのは、「私たちのまちの良さって何だろう?」とみんなで考え、協力しながら活動に取り組んでいるということです。

今回は、地域に根差したまちづくりを実践するグループや、団体の活動事例から、私たちのまちをもっと「大好き」になるために、今自分にできること、地域にできることを一緒に考えたいと思います。

とき/令和5年12月9日(土)、16日(土)【全2回】 10:00～12:00  
ところ/ウェルとばた12階H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)  
対象/テーマ(まちづくり活動)に関心のある方 受講料/700円  
定員/30名 ※申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。  
申込方法/電話(☎881-6321)またはGoogleフォームでお申込ください。

申込締切/  
11月28日(火)  
必着

